

友の会通信 2009

No.1 (通巻54号) 2009.4.20発行

■ 目次	第1回「友の会サミット」開催にあたり 1	「第1回 新潟県内博物館等友の会サミット」 1
	平成21年度総会の報告 2~4	友の会伝言板①② 4
	会員の研究ノート『春先の雪形から見た地名』..... 5	初夏の研修旅行『史跡めぐり』 6
	サークルだより『白河荘を歩く会』『“花”の会』..... 6	友の会伝言板③／編集後記 6

発行：吉田東伍記念博物館友の会 〒959-2221 阿賀野市保田1725-1 (阿賀野市立吉田東伍記念博物館内)
TEL0250-68-1200 FAX0250-68-5016 web版友の会通信<http://wind.ap.teacup.com/togo/>

第1回「友の会サミット」開催にあたり

吉田東伍記念博物館友の会会長 長谷川 明一 (はせがわ めいいち)

昨年4月12日の友の会総会後、新潟県立歴史博物館の山本哲也さんを講師にお迎えして、市民文化講演会を開催しました。講演後、山本さんを囲んでいろいろな話題がでるなかで、気にかかっていた新潟県内博物館等友の会連絡会の活動についてお聞きしました。連絡会に加盟する友の会が交流する場を設けたいというお話があり、そこで10周年記念行事として当会の主管で開催できないかというメッセージを託しました。

今年2月24日、各友の会の会長・事務局が集まり、連絡会が県立歴史博物館で開催されました。各会の設立当初からの課題や活動情報を持ち寄り、交流を図ることを趣旨にして「友の会サミット」開催の賛同を得ることができました。具体的な日程・内容なども協議され、企画書やチラシの作成などの作業を開始した次第です。

5月23日(土)は、初めて経験する「友の会サミット」です。成功に向けて、歩みを進めていきたいと思っていますので、会員の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

ご参加ください!

「第1回 新潟県内博物館等友の会サミット」

新潟県内博物館等友の会連絡会(事務局：新潟県立歴史博物館友の会)に加盟する8つの友の会の仲間が阿賀野市に集って交流を深める「第1回 新潟県内博物館等友の会サミット」の概要が決まりましたのでご案内します。「TOGO Museum Ensemble」の演奏(今回は弦楽四重奏)や当館館長による歓迎講演「吉田東伍の郷土観と友の会」など、阿賀野市ならではのプログラムも取り入れました(詳細は同封のチラシをご覧ください)。記念すべき第1回サミットの開催です。会員一丸となって盛り上げましょう!

期 日：5月23日(土) 10:00~16:00 (懇親会16:00~18:00)

会 場：午前の部／阿賀野市立吉田東伍記念博物館 吉田東伍生家
午後の部／割烹はせ川 多目的ホール

内 容：開会式、オープニング・サロンコンサート、歓迎講演、
友の会活動紹介、パネルディスカッション、閉会式

参加費：300円(資料代等) ※友の会会員は入館料無料です。

昼 食：1,000円(希望者のみ)

懇親会：会費4,000円(友の会会員のみ)

参加申し込み：5月15日(金)までに、友の会事務局(Tel.0250-68-1200、FAX0250-68-5016、
メールy.togo@oregano.ocn.ne.jp)へ、①名前・住所・電話番号、②昼食の希望有無、③懇親会の出欠席、④JR新津駅からの送迎バスの希望有無をお知らせ下さい。

※新津方面から懇親会に参加される方はJR新津駅西口からの送迎バス(無料)をご利用ください。午前9時10分にJR新津駅発。懇親会終了後、JR新津駅へお送りします。

平成21年度総会の報告

4月12日(日)、平成21年度総会が開催され、約30名の参加がありました。阿賀野市教育委員会・田村仁教育長様(生涯学習課課長・吉野晴記様代読)より友の会へのあたたかいメッセージをいただき、議事に入りました(議長・長谷川明一会長)。平成20年度事業報告・決算報告、平成20・21年度役員(変更)、平成21年度事業計画・予算について、慎重審議の結果、下記のとおり承認されましたので、ご報告します。なお、総会終了後、今年度、友の会が力を入れていく『世阿弥十六部集』発刊100周年記念事業の第1弾として『ビデオ講座 古典芸能シリーズ』(企画・発行: 株式会社伊國屋書店、製作: 株式会社ボルケ)を鑑賞しました。「友の会サミット」「県立歴史博物館移動展覧会」など、博物館と連携しながら、事業を一つ一つ誠実に実施していきたいと考えております。今年度もよろしく願い申し上げます。

(事務局: 小野里澄子、田中洋史)

平成21年度 吉田東伍記念博物館
友の会 総会



平成20年度事業報告

期 日	内 容	参加者数
4月12日(土)	平成20年度阿賀野市立吉田東伍記念博物館友の会総会	40人
4月12日(土)	吉田東伍記念博物館友の会設立10周年記念 市民文化講演会 2008 「地域博物館の未来を考える」 講師: 山本哲也氏(新潟県立歴史博物館主任研究員)	40人
5月24日(土)	星空への招待 2008 ～土星のリングを観よう～	雨天中止
6月1日(日)	阿賀野市立吉田東伍記念博物館コンサート 2008 TOGO Museum Ensemble 第10回記念演奏会～オーケストラの愉しみ～	140人
6月21日(土)	初夏の研修旅行 博物館めぐり ～新潟県立歴史博物館「山古志ふたたび」展と山古志の棚田～	24人
8月29日(金)	とんと昔を聞く会～安田の昔話と伝説～	60人
9月7日(日)	星空への招待 2008 ～上弦の月を観る～	雨天中止
9月15日(祝)	サロンコンサート Vol.6 ～オペラ・デュオ・フェリーチェ～	100人
11月20日(木)	秋の研修旅行 史跡めぐり～越後城氏と会津坂下町～	20人
1月17日(土)	第11回研究発表会 発表テーマ: 史料から探る直江兼続と妻おせん 発表者: 田中洋史氏(友の会会員)	80人
通 年	①友の会創立10周年記念事業	
	②他の文化団体との連携・協力	
	③学校教育への支援・教育	
	④インターネットによる広報活動「友の会通信ウェブ版」の充実	

平成21年度事業計画

期 日	内 容	備 考
4月12日(日)	平成21年度阿賀野市立吉田東伍記念博物館友の会総会	
4月12日(日)	『世阿弥十六部集』発刊100周年記念 第1回『ビデオ講座 古典芸能シリーズ』鑑賞会(全5回)	サークル「花」の会企画
5月23日(土)	第1回 新潟県内博物館等友の会サミット(主管) オープニング・サロンコンサート	新潟県内博物館等友の会連絡会主催事業
6月3日(水)	第2回『ビデオ講座 古典芸能シリーズ』鑑賞会	サークル「花」の会企画
7月6日(月)	初夏の研修旅行 史跡めぐり ～与六のふるさと上田荘と南魚沼市「愛・天地人博」～	
7月(予定)	新潟県有形文化財指定記念「上野林遺跡群の旧石器」「齋藤家文書」展(仮)	博物館協力事業
8月12日(水)	星空への招待 2009 ベルセウス座流星群観望会	
8月28日(金)	とんと昔を聞く会	
10月(予定)	阿賀野市立吉田東伍記念博物館コンサート 2009 TOGO Museum Ensemble 第11回演奏会 ～ハイドン没後200年・メンデルスゾーン生誕200年～	博物館共催事業
10月20日(火) ～ 11月15日(日)	新潟県立歴史博物館移動展覧会「天地人と揚北」(仮) 講演会: 10月25日(日) 宝翰集をよむ(仮) 講師: 前嶋敏氏(新潟県立歴史博物館) 講演会・シンポジウム: 11月7日(土) 阿賀野の戦国時代(仮) 講師: 森田真一氏(群馬県立歴史博物館) ※関連事業「古文書解読講座」「体験プログラム」	博物館協力事業
11月中旬	秋の研修旅行 博物館めぐり～「天地人」と揚北～	
1月下旬	第12回研究発表会 発表テーマ: 未定 発表者: 小林弘氏(友の会会員)	
3月(予定)	『世阿弥十六部集』発刊100周年記念 市民文化講演会 2010「世阿弥と越後・佐渡」(仮)	サークル「花」の会企画
通 年	①パネル巡回展の実施	
	②他の文化団体との連携・協力	
	③学校教育への支援	
	④インターネットによる広報活動「友の会通信ウェブ版」の充実	

平成20・21年度役員について(変更)

役 職	氏 名	備 考
会 長	長 谷 川 明 一	
副 会 長	黒 坂 収	
副 会 長	信 田 久 栄	新(運営委員より)
会 計 監 事	石 山 昭 而	
会 計 監 事	廣 田 康 也	
運 営 委 員	大 島 かほみ	
運 営 委 員	小 野 民 裕	
運 営 委 員	白 井 皓 一	

役 職	氏 名	備 考
運 営 委 員	成 沢 克 典	
運 営 委 員	成 海 修 一	
運 営 委 員	長 谷 川 大 八	新
運 営 委 員	廣 田 正 博	新(副会長より)
運 営 委 員	百 都 政 弘	
事 務 局	小 野 里 澄 子	
事 務 局	田 中 洋 史	

平成20年度 収支決算書

(収入の部)

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	比較(決算-予算)	内 訳
繰 越 金	171,430	171,430	0	
会 費	360,000	323,000	△ 37,000	一般会費 2000 × 67 人 = 134,000 家族会費 3000 × 24 人 = 72,000 賛助会費 10000 × 11 人 = 110,000 19 年度会費 (一般) 2000 × 2 人 = 4000 19 年度会費 (家族) 3000 × 1 人 = 3000
書 籍 頒 布 代	/	26,840	26,840	地名の巨人 @2835 × 8 冊 = 22,680 友の会通信特別号 @500 × 5 冊 = 2500 地名を学ぶ人のために @300 × 5 冊 = 1,500 吉田千秋 @80 × 2 冊 = 160
雑 収 入	3,570	338	△ 3,232	利子・寄附金
繰 入 金	/	202,443	202,443	
合 計	535,000	724,051	189,051	

(支出の部)

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	比較(決算-予算)	内 訳
事 務 費	65,000	61,757	3,243	
・ 事務局費	30,000	27,911	2,089	事務連絡費
・ 消耗品費	35,000	33,846	1,154	事務用品、会員証、用紙類等
通 信 費	50,000	79,230	△ 29,230	切手・葉書代
印 刷 費	100,000	73,500	26,500	
会 議 費	10,000	4,000	6,000	
事 業 費	260,000	226,187	33,813	
・ TME コンサート	65,000	97,424	△ 32,424	謝礼、昼食代、テーブル類代他
・ サロンコンサート	30,000	34,593	△ 4,593	謝礼、昼食代、テーブル類代他
・ パネル巡回展	10,000	0	10,000	(開催なし)
・ 講演会	50,000	23,000	27,000	市民文化講演会
・ 研究発表会	10,000	6,170	3,830	研究費
・ 研修旅行	20,000	10,000	10,000	資料代等・バス代補助
・ 星空への招待	10,000	0	10,000	(中止)
・ サークル活動助成	25,000	25,000	0	1 団体 10,000、20 名以上 15,000
・ とんと昔ばなし	10,000	6,000	4,000	謝礼
・ ピアノ調律費	30,000	24,000	6,000	
積 立 金	20,000	0	20,000	
予 備 費	20,000	0	20,000	
交 流 負 担 金	10,000	10,000	0	他団体との交流会費
合 計	535,000	454,674	80,326	

収入計 724,051 円 - 支出計 454,674 円 = 差し引き 269,377 円 (次年度へ繰り越し)

平成21年度 収支予算書

(収入の部)

(単位：円)

区 分	前年度決算額	予 算 額	比較(決算-予算)	内 訳
繰 越 金	171,430	269,377	97,947	
会 費	323,000	350,000	27,000	一般会費 2000 × 67 人 = 134,000 家族会費 3000 × 24 人 = 72,000 賛助会費 10000 × 11 人 = 110,000 19 年度会費 (一般) 2000 × 2 人 = 4000 19 年度会費 (家族) 3000 × 1 人 = 3000
書 籍 頒 布 代	26,840	5,000	△ 21,840	地名の巨人 @2835 × 8 冊 = 22,680 友の会通信特別号 @500 × 5 冊 = 2500 地名を学ぶ人のために @300 × 5 冊 = 1,500 吉田千秋 @80 × 2 冊 = 160
雑 収 入	338	5,623	5,285	利子・寄附金
繰 入 金	202,443	0	△ 202,443	
合 計	724,051	630,000	△ 94,051	

(支出の部)

(単位：円)

区 分	前年度決算額	予算額	比較(予算-決算)	内 訳
事 務 費	61,757	65,000	3,243	
・ 事務局費	27,911	30,000	2,089	事務連絡費
・ 消耗品費	33,846	35,000	1,154	事務用品、会員証、用紙類等
通 信 費	79,230	80,000	770	切手・葉書代
印 刷 費	73,500	90,000	16,500	
会 議 費	4,000	10,000	6,000	
事 業 費	226,187	254,000	27,813	
・ TME コンサート	97,424	65,000	△ 32,424	謝礼、昼食代、テーブル類代他
・ サロンコンサート	34,593	30,000	△ 4,593	「友の会サミット」オープニングコンサート
・ パネル巡回展	0	10,000	10,000	
・ 講演会	23,000	50,000	27,000	博物館企画展、市民文化講演会
・ 研究発表会	6,170	10,000	3,830	研究費
・ 研修旅行	10,000	20,000	10,000	資料代等・バス代補助
・ 星空への招待	0	10,000	10,000	
・ サークル活動助成	25,000	25,000	0	1 団体 10,000、20 名以上 15,000
・ とんと昔ばなし	6,000	10,000	4,000	謝礼
・ ピアノ調律費	24,000	24,000	0	
積 立 基 金	0	100,000	100,000	15 周年記念事業
予 備 費	0	21,000	21,000	
交 流 負 担 金	10,000	10,000	0	他団体との交流会費
合 計	454,674	630,000	175,326	

◎会費納入のお願い

■会費 (年額)

- 一般 (高校生以上) : 2,000円
- 小中学生 : 1,000円
- 家族会員 : 3,000円
- 賛助会員 : 1 口10,000円

◎納入方法

- * 博物館受付で直接納入するか、同封の振込用紙をご利用下さい。
- * 会員証は、博物館窓口で納入の場合はその場で発行します。振込の方へは後日送付します。
- * 本通信と行き違いで既に会費を納入された場合はご容赦願います。
- * 新規会員も随時募集しています。会員の皆様からも募集チラシ等で P R いただければ幸いです。

□友の会伝言板

①「web版友の会通信」をご覧ください！

<http://wind.ap.teacup.com/togo/>

特設ファイルでは「無謬ではない吉田東伍と『大日本地名辞書』 賛辞ばかりではなかった『大日本地名辞書』… 宮武外骨『滑稽新聞』からの筆誅…」を掲載しています。

② 原稿を募集しています

友の会通信の「会員の研究ノート」「会員随想」「友の会伝言板」のコーナーへの投稿をお待ちしています。詳しくは友の会事務局までお問い合わせください。

春先の雪形から見た地名

会員 廣 田 康 也 (ひろた こうや)

山の地名には、麓の地名や地形、山岳信仰、雪形などが由来となっているものが多い。安田地方渡場より寺社、堀越方面から見た山の地名と雪形とのかかわりを紹介したい。

鳴沢峰 (880.1m) は成沢山、次狩 嶽、馬下山、三五郎山、菅名山と村により別な呼び名がある。正徳三年 (1713年) の馬下村佐取村山論資料には「駒立ヶ峰」と見える。

峰下に2頭の馬頭、鷺、鳩の雪形が現れ、安田地方では代掻、粟、豆まきの目安にした。『新編会津風土記』佐取村の項に「経ヶ峰のうへ馬頭たち」と雪形の記述が見える。山名は北斜面を阿賀野川に流れ下る鳴沢にちなむ。山足の馬下集落の地名の由来は、馬では通れない難所のため馬を下りた所と言う。阿賀野川の舟着き場とも考えられるが、「馬」はアバ地名の転訛地名でもある。村中に突抜、猿田地名があり山抜け崩崖地名とも考えられる。

大日山 (924m) は西山とも言う。山名は大日如来に由来する。山麓の大日原に大日如来神社がある。野須張峰に続く鞍部に覆面、狐、熊、と変化する雪形が現れる。

菱ヶ岳 (974.2m) は山頂の里側を猿渡山、大室側を高頭と言う。地名は、この山が中世の白河荘と小川荘の境界にあり、境界の四至が、鹿から菱と訛ったと考えられる。

山頂下の亀裂跡に猿の雪形が現れ、附近を猿渡山と言う。猿は去るで崖崩れ地名である。

中ノ岳 (915m) は菱ヶ岳と五頭山の間にある。麓の大室区域で大室山とも言う。大沢に平鍬と笠、合わせると案山子、小倉沢に逆さ男の雪形が現れ、春耕や山菜取りの目安にした。

五頭山 (912.5m) は五頭山とも言った。由来は五峰並び立つ姿からと言う。

伝承に、大同4年 (809) 年、空海が五頭山を開き、一ノ峰から五の峰に観世音菩薩、薬師如来、不動明王、毘沙門天、地藏菩薩の五社権現を勧請、奥の院とした。山下の出湯に本坊の五頭山福性院海満寺 (本尊大日如来) を建立し、四院三十三坊の末房を付属させ山岳信仰の霊場とした。暦仁年中 (1238-39年) に山火のため堂坊悉く焼けたと伝えられている。

四ノ峰下に牛頭の雪形が現れ、白く輝く姿は牛頭天王の示現のように見える。信仰の山五頭山と牛頭、かかわりは定かでない。一ノ峰下に鯛の雪形が現れ、田植えの目安とされた。

【主な参考文献】

- 藤島 玄 (1967) 『越後の山旅』 富士波出版社
- 本間雅彦 (1994) 『牛のきた道』 未来社
- 渡会好古 (2002) 『渡会照臣遺稿集 笹岡』
- 笹神 村 (2003) 『笹神村史』 資料編一

雪形位置略図



撮影地：阿賀野市小浮

初夏の研修旅行

史跡めぐり ～与六のふるさと上田荘と南魚沼市「愛・天地人博」～

今年度の研修旅行は話題の大河ドラマ「天地人」ゆかりの史跡をめぐります。初夏の研修旅行は兼続生誕の地・上田荘です。子役の名セリフで有名になった与六のふるさとです。ふるってご参加ください。

期 日 **7月6日(月)**

集 合 午前8時 阿賀野市安田体育館駐車場集合、午前8時30分 新津地域学園集合

行 程 (予定) 8:00 安田体育館駐車場発 → 8:30 新津地域学園 → 磐越道新津IC →
10:00 南魚沼市「愛・天地人博」・直江兼続公伝世館・坂戸城跡・長尾政景公墓所 → 昼食 →
雲洞庵・樺沢城跡・龍澤寺 → 15:30 関越道六日町IC → 16:30 新津地域学園 → 17:00 安田体育館駐車場着

参 加 費 会員 5,500 円、非会員 6,500 円 ※交通費・入場料・拝観料・昼食代・保険料等を含みます。
※当日入会も可能ですのでご家族・ご友人などお誘い合わせのうえご参加下さい。

定 員 30名(先着順)

申し込み 7月1日(火)までに、電話(0250-68-1200)・FAX(0250-68-5016)・
メール(y.togo@oregano.ocn.ne.jp)でお申し込みください。

サークルだより

白河荘を歩く会

～阿賀野市と
その周辺の「天地人」を歩く～

5・6月例会のご案内

4月16日(木)に行われた例会では、22名の参加があり、安田城跡を訪ねました。安田城跡は17歳の吉田東伍が『安田志料』にその歴史を描いた場所。東伍の学問を追いながら活動を進めている当会にとっても初心の地です。今年度の活動は、話題のNHK大河ドラマ「天地人」にゆかりのある史跡の巡見を行います。お気軽にご参加ください(資料代として参加費100円をお願いします)。

5月例会
日 時: **5月19日(火) 13:00～16:30**
集合場所: 阿賀野市立吉田東伍記念博物館
巡 見 地: 新発田市方面
(水原満家の首塚、正法寺石仏群、浦の六地藏 ほか)
資料作成: 小林弘さん(友の会会員)

日 時: **6月25日(木) 13:30～16:00**
集合場所: 水原公民館
※安田からの送迎を希望される方は13:00に博物館へお集まりください。
巡 見 地: 水原地区(下条館、山口館 ほか)

6月例会

“花”の会

『世阿弥十六部集』発刊100周年記念
第2回
『ビデオ講座 古典芸能シリーズ』
鑑賞会

第2巻「入門・狂言の技と心」(企画・発行:
株式会社伊國屋書店、製作:株式会社ボルケ)を研修室
の大型スクリーンで鑑賞します。振るってご
参加ください。

日 時: **6月3日(水)**
13:30～15:00

会 場: 阿賀野市立吉田東伍記念博物館研修室

活動への参加は、資料準備の都合上、前日ま
でに友の会事務局(博物館内)へ電話(0250-
68-1200)・FAX(0250-68-5016)・メー
ル(y.togo@oregano.ocn.ne.jp)でお申し込
みください。

□友の会伝言板



③「友の会通信」前号の号数は
No.53の誤りでした。
お詫びして訂正します
(事務局)。

編・集・後・記

デザインしてくださったHさんによれば、友の会サミットのチラシ
は「走り出す」イメージとのこと。4月は新たな気持ちで何かを始め
る季節です。友の会も11年目がスタート。「出会い」と「和」を大切に
前向きな歩みを進めていきたいと思います。(H・T)